

日本経営倫理学会会長

平成 26 (2014) 年 3 月 13 日

日本経営倫理学会会長

高橋 浩夫

会員各位

4 月度研究交流例会開催の件

4 月度研究交流例会を下記の要領により開催いたしますので是非ご参加ください。

今回は中東地域研究がご専門の中央大学教授の櫻井秀子先生と白鷗大学教授による報告を予定しております。両報告を中心に、幅広い意見交換を通して問題意識を共有できればと存じます。各位の積極的なご参加を期待します。

記

1) 日 時 平成 26 (2014) 年 4 月 19 日 (土) 午後 14 時より午後 17 時

2) 場 所 経営倫理実践研究センター (BERC) セミナー室 (地図→)

3) テーマおよび報告者

①14 時 00 分～15 時 20 分

「イスラームの経営倫理と社会的責任」

報告：櫻井 秀子氏 (中央大学・教授)

報告概要

* 報告①：櫻井 秀子 (さくらい ひでこ) 氏

近年では、イスラーム銀行やハラール市場の拡大により、イスラーム的経営のテクニカルな側面が明らかにされつつあるが、

イスラームにおいては、倫理と不可分な経営の実践は篤信のあらわれそのものであり、イスラーム社会の伝統的な企業経営の重要な

柱となっている。したがって本研究会においては、イスラームにおける経営倫理とその社会的責任に焦点をあて、イスラーム法から

導かれる経営の社会的責任とその実践、ならびに公共善に資する経営について、その事例を交えながら報告を行う。

* 報告②：高橋 浩夫 (たかはし ひろお)

日本企業のグローバル化の推移を振り返り、中国を始めとする新興国の急速な発展による技術革新を“反転の技術革新”

(リバースイノベーション) と捉え、それがグローバル企業の経営倫理、CSR と深い関係にあることを明らかにしたい。

②15 時 30 分～16 時 50 分

「企業のグローバル化と経営倫理～リバースイノベーションの経営倫理・CSR の視点から～」

報告：高橋 浩夫氏 (当学会・会長、白鷗大学・教授)